



H 29. 9. 8 (金)

「おさんぽ楽しいね♪」

9月に入り、日射しがやわらぎ過ごしやすくなっています。先日、散歩車に乗って近所の茶屋町公園まで行きました。外の世界へ出ると、散歩車の手すりをぎゅっと握り、周囲の様子をじっと見ています。散歩の途中、すれ違う地域の方が「あら、おさんぽ？いいねえ。」「今日はどこ行くの？」「かわいいねえ。」等と声をかけてくださいました。じっと見ている子どもや手を振る子どもなど反応は様々でしたが、子どもたちにとってよい体験だったと思います。夏から秋への季節の移り変わりの刺激を感じながら、これから外遊びやおさんぽなど秋の心地よい風にふれたいと計画しています。



「手遊び・上がり目 下がり目♪」

子どもたちの好きな手遊びを紹介します。指で目の辺りを触って保育士の真似をしている姿がとてもかわいいです。



☆上がり目 下がり目→人差し指で目を上にあげ、次に下げます

ぐるりとまわして →人差し指で目の横をぐるっと回します

ねこの目 →人差し指で目を上にあげます



「おつきさま こんばんは」

午睡前に絵本を読んでいます。

保育士が「さあ、絵本読みますよ。」と話しかけると、保育士の前にチヨコンと座ります。子どもたちはお月さまがこんばんはと出てくると、一緒に“こんばんは”と頭を下げたり、手をたたいてお月さまを迎えていきます。



0歳児担任：福岡・道畑・齊藤



すみれぐみだより

平成29年9月8日(金)

日中の日差しはまだ厳しいですが、朝晩は少しずつ涼しくなってきました。歴の上の季節は、秋へとバトンタッチです。戸外でも過ごしやすい季節になりましたが、夏の疲れや、季節の変わり目から、体調を崩しやすい時期もあります。健康面に気をつけながら、活動的な遊びを取り入れる事にしています。

**小麦粉粘土**

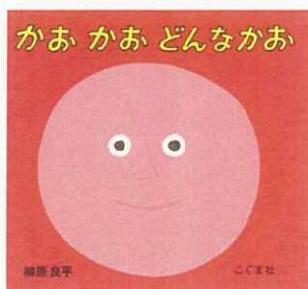
**粘土をちぎったり、こねたり、転がしたり・・・
手を使って、自由に触感を楽しんでいます。
引っ張ったり、押したりすることで形に
変化が生まれることに気づき良い刺激になっています。**

小麦粉粘土の材料

小麦粉	…300グラム(小麦粉:水=3:1)
お水	…80~100CC
お塩	…小さじ1(防腐剤の代わりになります)
油	…少量(手触りが滑らかになります)
食紅	…少量

**絵本の紹介****かお かお どんなかお**

さまざまな顔の表情を大胆にデフォルメして切り絵で表現した絵本です。子どもたちは、「笑いよるね」「おこっとするね」などページをめくるたびに指をさせて言っています。最後のページの、『いい かお』をみんなになると、にこっと可愛い笑顔を見てくれる子どもたちです。





ちゅうりっぷだより

平成29年9月8日(金) 発行

虫の声もセミからスズムシの透き通ったリンリンリーン、マツムシのチンチロリンの鳴き声が秋を知らせています。しかし、季節の変わり目には体調を崩しやすい時期もありますので、保育園でも子どもたちの体調に気付けて、元気を守っていきます。

せんせい～こう？

上着を「よいしょ」と悪戯苦闘しながら脱ぐと衣服が裏返しになっています。そんな時は保育士が手を添えながら、「ちゃんとてきたね」と言葉をかけています。

また、「せんせい、こう？」と確認しながら自分でしている子どももいます。うまく出来ずにイライラして「できん」「してください」「一緒にして」と衣服を持ってきています。いろんな姿がありますが、やろうとする頑張りを大切にしていきたいと思います。



8月が終わり段々涼しくなってきました。園外散歩も計画しています。近くの公園へお散歩に行き、秋の草花や木の実に触れたり、心地よい風にあたりながらたくさん遊んだりしようと思います。履きなれた靴を用意お願い致します。

「色水あそび」

8月はプール遊びや水遊び、泥遊び、魚つり遊び、色水遊びなど夏ならではの遊びを楽しみました。色水あそびをしたとき、絵の具を使って赤・青・黄色・緑・白・茶色を用意しました。ペットボトルの水の色が変わると赤はいちご、青はソーダ、黄色はバナナ・レモン、緑は抹茶・メロン、白はカルピス・牛乳、茶色はお茶と話していました。子どもたちは「何のジョース飲もうかな?」「カルピスがいい」とジュース屋さんをしたり、自分でペットボトルに入った色水をクリアカップに注いで友だち同士で「かんぱい~」と言いながら乾杯をしたりしていました。色が混ざり、紫やピンクに変わると子どもたちは驚きの表情と「おお~」「色が変わった」という感嘆の声が上がりました。



ちゅりっぷ組担任・・井上、唐木、桑原

こすもすだより

H29.9.8(金)

夕暮れ時に、“ひぐらし”蝉の鳴き声がきこえ秋の近づきを感じます。園庭に出ると、背高のつぼのヒマワリの花が下を向いてお辞儀をしているようです。それを見た子どもたちの会話が始まりました。「お日様が暑いから下を向いてるんじゃない？」という発想が始まり、ゆいと君が「ヒマワリは、帽子をかぶっていないから暑いんだね」と、話していました。話を聞いていたそうすけ君は、「背が低いヒマワリは、上向いてるよ！元気だね」など、ヒマワリを見上げて話していました。子どもたちの豊かな会話の盛り上がりを頼もしく見守りました。

豊かな秋を迎えて、園外保育などで、自然とかかわり、さまざまな体験ができる行事（金毘羅、皿倉登山）があります。子どもたちにとってより豊かな体験や発見の季節を、楽しむことができるよう、日々の生活を大切に過ごしていきたいと思います。



“がんばるよ！”

体育大会に向けて、ワッペンをつくりました。ワッペンは、大きなケーキが出来上がるようになっています。順にみかん、キュウイ、りんご、ブドウと、活動に参加すると順々と、果物が増えていきます。最後のマラソン大会に参加すると大きないちごと共に、フルーツケーキが完成します。先日、中央公園に異年齢グループで散歩に出かけた日は、キウイを貼りました。自分のワッペンにキウイが貼られると、うれしそうにワッペンを見ていきました。「マラソン大会まで、たくさんの果物が貼れるように頑張れるかな？」と話しかけると、笑顔で「うん！がんばるよ！」と、元気な返事が返ってきました。子どもたちが体育大会で十分に発揮できるよう、支えていきたいと思います。



この絵本読んで！



家の帰る途中、幼いケイコは見知らぬ森に

迷い込み、動物たちと大好きなかくれんぼ

をします。美しい秋の森は子どもの目を引

きつけます。



H29. 9. 8(金)

みんなで植えたヒマワリの花が咲きました。たんぽぽさんが畑の水やりをしている様子を見ていた子どもたちは、自分たちも何か育ててみたかったようです。ひまわりが、元気に大きく育つようにと、水やりをしていました。お盆明けにひまわりの花が咲いているのを見つけ、子ども達は、「いちごグループのひまわりが咲いているよ」や「黄色の花びらが18枚もあったよ」等と、友だち同士の会話を弾ませていました。自分たちで、種を植えて、水やりをし育てただけに、花が咲いて、喜びもひとしおだったのではないかと思います。



縄跳び・竹馬・大繩に挑戦しています。

子ども達は縄跳び、竹馬に挑戦しています。練習を始めた頃は、保育士に「縄は、こうやって持つと?」と、もち方、回し方を何度も聞いていましたが、跳べる子どもが増えてくると、友だち同士で、「こうやって、跳ぶんだよ」等と教えあう様になってきました。

一人ひとりの目標を立て、子どもが興味がもてるようにと、表にして掲示してみました。

10月5日の体育まつりでは、春の運動会の時よりも成長した姿をみていただけたらと思っています。子ども達も、「みんなにみてもらう」と張り切っているので、時間の都合がつく方は参観して下さると、子ども達も嬉しい事思います。宜しくお願ひ致します。

鍵盤ハーモニカ

鍵盤ハーモニカを練習しています。ホースの使い方、吹き方などを、少しづつ覚えています。子ども達は、「ドドドの歌」に合わせたり「いろんな曲を弾きたいな」「カエルの歌を弾いてみたい」と保育士と一緒に弾くことを、楽しんでいます。



元気が1番

9月1・4日に、3, 4, 5歳の子ども達が、3つのグループに分かれて、宮の町公園、中央公園へと散歩に行きました。ひまわり組の子ども達は、こすもす組さんと手を繋ぎ、優しく声をかけたり、年下の友だちを守ろうと、道路側を歩いたりと、思いやりいたわりながら歩いていました。秋の風を受けながら共に育っている姿を嬉しく思いました。

金毘羅、皿倉登山に向けて少しずつ距離を伸ばして行こうと計画しています。

☆第6号☆



たんぽぽだより

発行：平成29年9月8日（金）

真夏の太陽で、真っ黒に日焼けした子どもたち。いろいろな体験を楽しみ、充実した夏を過ごしたようで、思い出とともに、一回り大きくなったように感じます。これから実りの季節を迎えて、心身ともにさらに大きな実を結ぶよう、日々の育ちを積み重ねながら、幼児期の締めくくりへと進みます。



私たちについてきて！

金比羅・皿倉登山やマラソン大会に向かって、こすもすぐみ・ひまわりぐみと一緒に、距離を伸ばしながら、お散歩を行っています。少し前までは、「今度の皿倉登山、たんぽぽ組は山道を歩くんだよね？」「山道って初めてだけど大丈夫かな？」とちょっぴり不安げに話していた子どもたち。散歩に行き始めるとそんな不安も吹き飛んだようで、散歩道で皿倉山が見えると「今度あの山に登るんだよ」「一緒に頑張ろうね」と何だか誇らしげに話し、自然と車道側を歩いたり、疲れた表情をしている友だちに「もうすぐ着くよ。」「もう少しゆっくり歩こうか？」と優しく話しかけたりし、守ってあげようとするたくましい姿を見せてくれます。全体的にバランスのとれた発達を支えたいと保育内容を広げながら進む方向へと計画しています。

頑張って練習しています！

地域の老人の方々に披露するため、子どもたちは「黒田節」「荒城の月」「きよしのズンドコ節」の3つの踊りの練習をしています。

7月の七夕の時には、雨の影響でやすらぎ荘の七夕まつりが中止になり、おじいちゃんおばあちゃんに会うことができなかったことを残念そうにしていましたが、今ではそれが力となり、「今度こそ私たちの踊りを見てもらって、元気を分けてあげられたら良いね」「おじいちゃんたち喜んでくれると良いな」と練習にも力が入っています。

この秋は、引っ張りだこのたんぽぽ組。施設や舞台での発表の経験は、この秋の経験をより深めるようです。

